出前講座　区分：砂防　講座名：砂防事業の概要

岩手河川国道事務所
流域治水課

「砂防堰堤探検隊」

開催概要

- 開催日時　令和7年6月24日（火）9:30～13:50
- 開催場所　イーハトーブ火山局、洞ヶ沢東沢第1・第2砂防堰堤、焼走り溶岩流、スキー場南沢火山砂防堰堤工事現場
- 参 加 者　八幡平市立田頭小学校4年生児童　9名

実施内容

岩手河川国道事務所、岩手県、岩手山関係4市町（盛岡市・八幡平市・滝沢市・雫石町）では、次代を担う小学生を対象に、八幡平山系における土砂災害（火山噴火）の発生メカニズムや、地域の安全を支える砂防施設の役割を理解し、災害から自らの命を守る知識を習得することを目的に、『砂防堰堤探検隊』を平成8年度から開催しており、今年は八幡平市と滝沢市の小学校が対象となっています。

6月24日（火）は、先行して八幡平市立田頭小学校4年生児童9名が探検しました。

まず午前中の座学では、岩手山や火山噴火、土砂災害（土石流、地すべり）について動画やクイズ等を通して学んでもらい、土砂災害の被害を軽減するための国土交通省の砂防事業について紹介しました。その後、土石流模型を使用して、砂防堰堤がある場合とない場合での被害の違いについての実験を行った後、実際の砂防堰堤を見学してその大きさを体感してもらいました。

午後の部では、天然記念物である焼走り溶岩流で、その成り立ちについて砂防ボランティアの皆さんから解説していただき、最後に、岩手県が担当する砂防堰堤建設工事現場の見学をして、砂防堰堤が作られていく過程を学んでもらいました。

今回の取り組みが児童の皆さんの防災意識を高める一助となれば幸いです。

実施状況



火山局で座学の様子



土石流模型実験装置による実験の様子



スキー場南沢火山砂防堰堤工事現場の見学